

第5章 緑の重点地区

1. 緑の重点地区の設定

(1) 緑の重点地区とは

本市には山林のようなまとまった緑は少ないものの、市域の約50%が農地であり、本市独自の風景である植木畑、銀杏畑、社寺林などから他の市町村にはない緑のまちなみとなっています。

市民にとって健康的で快適な暮らしが実感できる個性豊かな緑のあるまちづくりに向けて、本市独自の風景である植木畑、銀杏畑などの緑や身近な緑、既存の公園の保全活用などを積極的に進めていく必要がありますが、効率的に目標を達成していくためには、高い効果が期待できる地区に対して重点的に施策展開を進めていくことが有効です。

このため、緑のマスタープランでは、「地域別ワークショップ」から得られた提案などを踏まえ、「選択と集中」の視点から、重点的かつ先行的に施策を展開する地区を「緑の重点地区」と定め、施策の取りまとめを行いました。

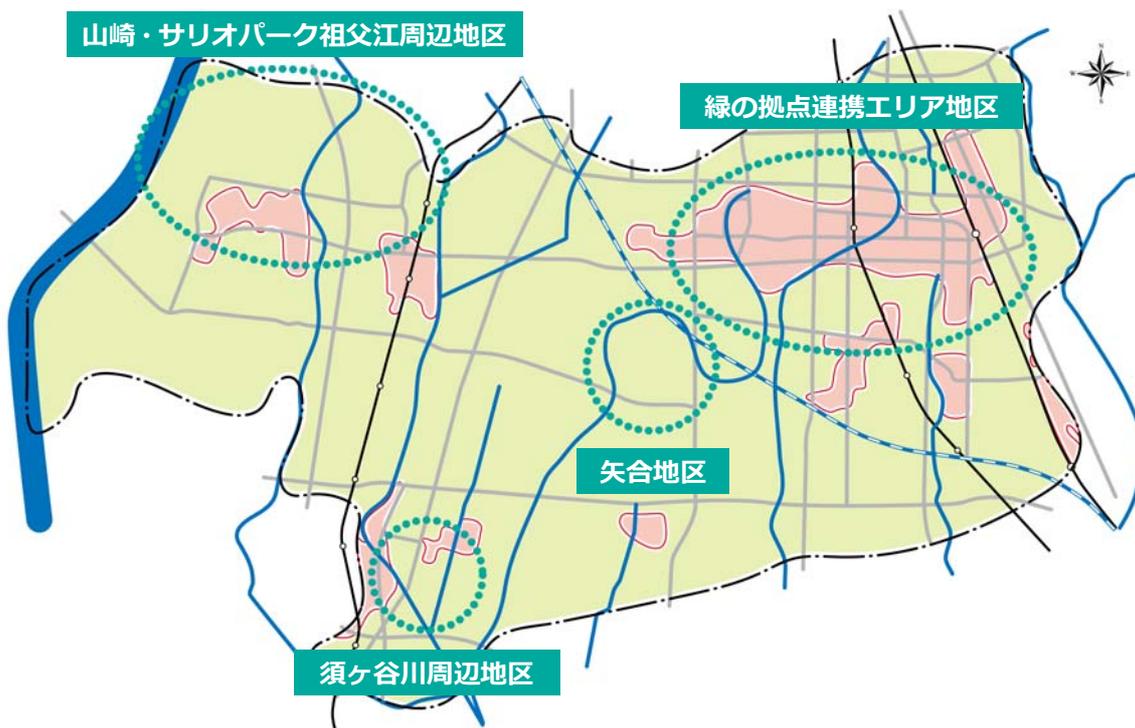
なお、緑の重点地区は、都市緑地法第4条第2項第8号の規定に基づき定められた「重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区」である緑化重点地区と同様のものと考えています。

(2) 緑の重点地区の設定

緑の重点地区の設定にあたっては、緑の将来都市像の緑の拠点エリア、緑の拠点連携エリアとして位置づけた以下の4地区を選定しました。

- 「緑の拠点連携エリア地区」
- 「山崎・サリオパーク祖父江周辺地区」
- 「矢合地区」
- 「須ヶ谷川周辺地区」

緑の重点地区位置図



2. 緑の重点地区別整備方針

(1) 緑の拠点連携エリア地区

1) 基本的考え方

名鉄国府宮駅やＪＲ稲沢駅といった市の玄関口や、尾張大國霊神社（国府宮）、市民会館や中央図書館の集まる文化の丘、稲沢公園や大学、美術館の集まる文化の杜、市役所や総合体育館など公共施設の集まる区域などの拠点や歴史資源である美濃路の稲葉宿などがあります。

これらの拠点の緑の保全や緑化を進め、緑の軸で結ぶ緑豊かなまちづくりを目指します。

2) 主な整備方針

基本目標：緑の拠点がつながり、多様な緑が感じられるまちづくり

基本方針 1. 稲沢の歴史や特色が感じられる空間の創出を図ります。

【具体的施策】

①名鉄国府宮駅前広場での緑の拠点整備

○駅前広場やその周辺の緑化など、事業者や地域住民と協働して植木のまちとしての稲沢らしさが感じられる整備を検討します。

②（仮称）美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの整備・活用

○（仮称）美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの整備にあたっては、美濃路らしさを演出しつつ、地域住民がイベントなどに活用できるスペースを確保します。

基本方針 2. 尾張大國霊神社（国府宮）と参道の緑豊かな景観の保全を図ります。

【具体的施策】

③社寺林及び参道の並木の保全

○尾張大國霊神社（国府宮）の社寺林や参道の桜並木については、緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づき指定している保存樹、保存樹林の制度を活用し、引き続き保全に努めます。

基本方針 3. 地域住民とともに公園の整備及び再整備を図ります。

【具体的施策】

④防災関連施設を設置した公園・緑地整備

○比較的規模の大きな街区公園を中心に、避難誘導灯、かまどベンチなど、防災関連施設の設置を進めます。

⑤地域住民との協働による特色ある公園の整備や再整備

○公園の整備や再整備にあたっては、計画段階から地域住民の参加を得て特色ある公園とするともに、市民との協働により維持管理や活用を図ります。

○面的整備済みで市街化区域にも関わらず都市公園整備がされていない緑町周辺や、新たに市街化区域に編入する地区においては、地域住民の参加を得て新たな都市公園の整備に努め、整備後は地域住民との協働により維持管理や活用を図ります。

基本方針４．水と緑のネットワーク整備を図ります。

【具体的施策】

⑥水と緑のネットワーク化

- 五条川、青木川、三宅川では、生物多様性に配慮した河川堤防などの植生管理の方法を検討します。また、大江川では休憩のためのベンチや周辺の観光資源を紹介する案内板の設置などを市民との協働により検討し、横断する道路にも配慮した既存の散策路の魅力向上を図ります。
- （都）奥田線は、名鉄国府宮駅周辺と南部の市街化区域を結んだ緑の軸として、歩行者が安心して歩くことが出来るように再整備を進めます。

基本方針５．民間事業者による公園活用を図ります。

【具体的施策】

⑦利用者の満足度向上と維持管理費の軽減

- グリーン・スパーク中央公園や稲沢駅東多目的広場は、隣接する民間施設と管理運営の可能性を検討し、利用者の満足度向上と維持管理費の軽減を図ります。

⑧稲沢駅東多目的広場の管理運営

- 稲沢駅東多目的広場と民間事業者が建設するアリーナの双方の魅力向上を目指し、事業者と協議の上、管理運営方法を検討します。

⑨民間事業者の活用の促進

- 稲沢公園の魅力を高めるため、周辺の大学や美術館の利用者などが利用できる飲食店やワゴン販売などについて、民間事業者の活用を検討します。

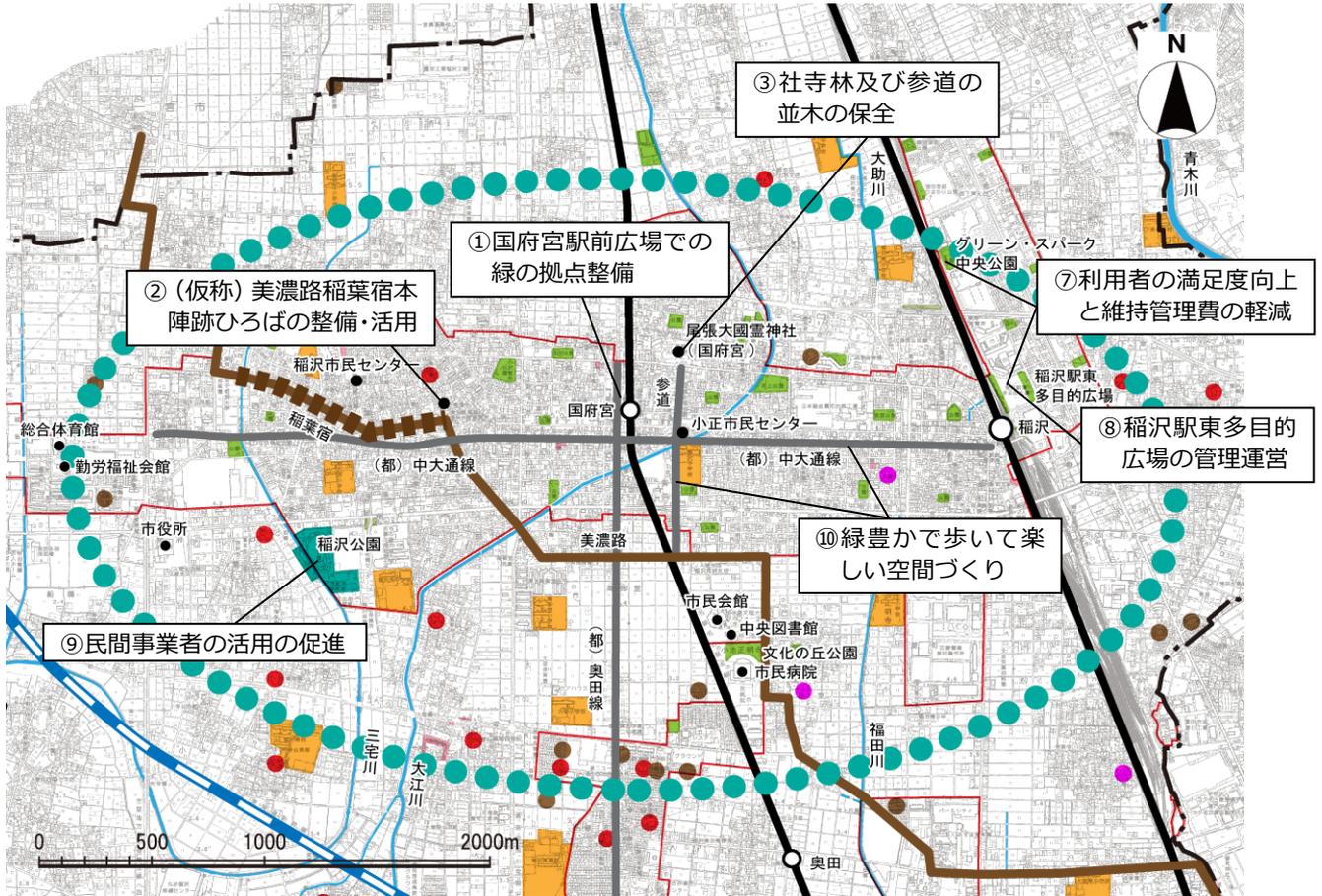
基本方針６．沿道の民有地緑化を促進します。

【具体的施策】

⑩緑豊かで歩いて楽しい空間づくり

- （都）中大通線沿線及び尾張大國霊神社（国府宮）参道の沿道の民有地緑化を促進し、緑豊かで歩いて楽しい空間づくりに努めます。

緑の拠点連携エリア地区方針図



- ④防災関連施設を設置した公園・緑地整備
- ⑤地域住民との協働による特色ある公園の整備や再整備
- ⑥水と緑のネットワーク化

- 鉄道
- 新幹線
- 美濃路
- ⋯ 宿場跡
- 街区公園
- 地区公園
- 都市緑地
- 市街化区域
- 河川
- 教育施設グラウンド
- 児童遊園
- 地区広場
- ちびっこ広場
- その他

(2) 矢合地区

1) 基本的考え方

本市独自の風景である植木畑と一体となった集落景観があり、また、史跡尾張国分寺跡をはじめ歴史的価値の高い地域資源や緑豊かな社寺が分布しています。

これらの個性豊かで多様な緑の保全や水辺の確保に努め、緑と共生した暮らしの場のモデルとなるような緑のまちづくりを目指します。

2) 主な整備方針

基本目標：地場産業である植木や史跡尾張国分寺跡を生かした緑豊かなまちづくり

基本方針 1. 集落内外の植木畑の保全と活用を図ります。

【具体的施策】

①植木畑の景観保全策の検討

○本市独自の風景である植木畑と一体となった矢合地区の集落景観の保全策を地域住民や植木生産者などと検討します。

②植木畑を活用したイベントなどの実施

○植木生産者と連携し、植木のショールームとして植木産業の振興につながるモデル庭園の展示や緑化の相談窓口の設置などを検討します。

○公有地だけでなく、民地においても樹名板や環境に対する効果（CO₂の吸収力など）を表記した説明板を設けるなど、市民と協働し、環境教育の場として活用できるような仕掛けを検討します。

○矢合地区の植木をPRするイベントやガーデニング教室など、市民が植木に親しむ場を検討します。

基本方針 2. 散策路を整備し緑豊かで、特徴のある空間づくりを図ります。

【具体的施策】

③社寺の花木や自由広場の活用

○社寺の花木や自由広場の活用とともに、安楽寺の桜並木や円光禅寺の萩・椿、愛知県植木センターの梅など、四季が感じられる散策路の活用にも努めます。

④散策路の整備

○「歩くって い〜な♪いなざわマップ」などのウォーキングルートに案内サインの設置などの整備を検討します。

○大塚井筋を活用して、歴史や特色のある社寺を回遊できるよう散策路の整備を進めます。また、将来的には木曽川沿川サイクリングロードと有機的に結ぶことを検討します。

⑤集落内の緑化推進

○散策路に面した住宅を中心に生垣設置を促進するとともに、あいち森と緑づくり事業などを活用して、緑化を推進します。

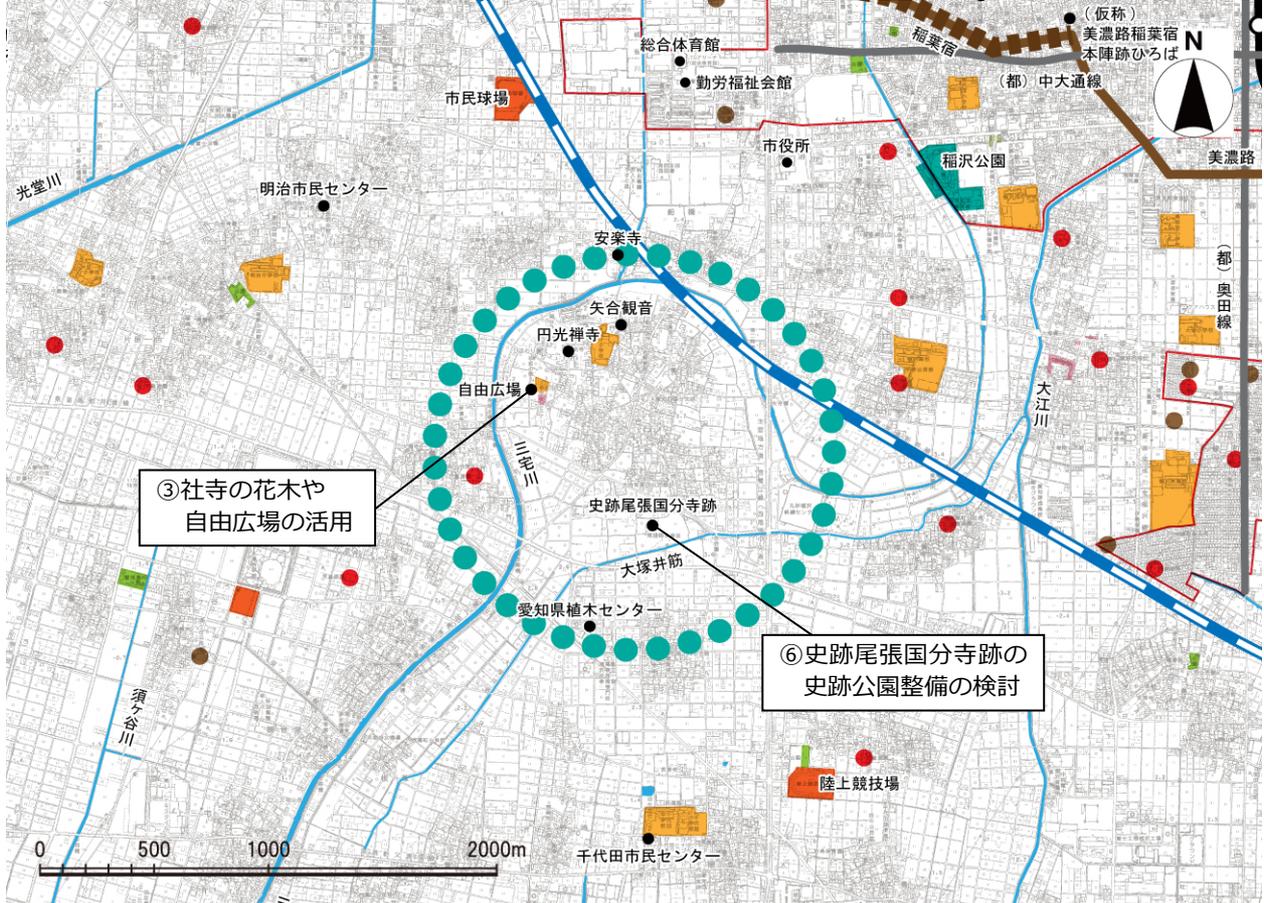
基本方針3. 史跡尾張国分寺跡を保存整備し、史跡公園として活用を図ります。

【具体的施策】

⑥史跡尾張国分寺跡の史跡公園の整備

○史跡尾張国分寺跡については、史跡の保存と史跡公園としての活用を図ります。

矢合地区方針図



③社寺の花木や自由広場の活用

⑥史跡尾張国分寺跡の史跡公園整備の検討

- ①植木畑の景観保全策の検討
- ②植木畑を活用したイベントなどの実施
- ④散策路の整備
- ⑤集落内の緑化推進

- 鉄道
- 新幹線
- 街区公園
- 地区公園
- 都市緑地
- 市街化区域
- 河川
- 教育施設グラウンド
- 運動場
- 児童遊園
- 地区広場
- その他

(3) 山崎・サリオパーク祖父江周辺地区

1) 基本的考え方

本市独自の風景である銀杏畑や屋敷銀杏をはじめとする地域資源が豊かな農業集落地があり、また、木曾川沿いにはサリオパーク祖父江や松林などの豊かな自然環境があります。

これらの身近な緑や公園の積極的な活用が行われる緑のまちづくりを目指します。

2) 主な整備方針

基本目標：地場産業である銀杏とサリオパーク祖父江を生かしたまちづくり

基本方針1. 銀杏畑や屋敷銀杏の保全と活用を図ります。

【具体的施策】

①銀杏畑や屋敷銀杏の保全活用策の検討

○本市の特徴的な景観である銀杏畑や屋敷銀杏の保全策と山崎地区の景観について、保全を促し活用策を検討します。

②「(仮称) イチョウ見本園」の整備

○銀杏を広く県内外にPRする場となる「(仮称) イチョウ見本園」を整備し、地域での銀杏保全の啓発やイチョウ散策の拠点とします。

○「(仮称) イチョウ見本園」の管理運営については、地域やボランティア団体などとの協働により行うことを検討します。

基本方針2. 広域レクリエーション拠点の活用を図ります。(サリオパーク祖父江)

【具体的施策】

③サリオパーク祖父江の活用促進

○多様な生物を観察できる場として、環境学習会(自然観察会)を市民団体などと協働して開催します。

○年間を通じた来園につなげ、四季折々のイベントを実施するため、国や県、市民ボランティアなどと連携し、水面、砂丘、河畔林などを活用したイベントの充実やPR活動の推進を図ります。

④サリオパーク祖父江へのアクセス道路などの整備

○サリオパーク祖父江へのアクセスの利便性を高めるとともに、公園の一体利用を促進させるため、国や県と連携し、案内板の設置や(都)祖父江稲沢線などの整備を推進します。

○サリオパーク祖父江と善光寺東海別院などの周辺施設を組み合わせた観光ルート沿道の民有地緑化や既存の緑の保全に努めます。

基本方針3. 木曾川の豊かな自然景観の保全を図ります。

【具体的施策】

⑤祖父江砂丘の保全

○祖父江砂丘については、国と連携し砂の流出防止策を検討するなど、その保全に努めます。

⑥松林の保全

○防砂のために植えられた松林については、こも巻きや薬剤注入などにより、引き続き保全に努めます。

基本方針4. 水辺を生かした歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。

【具体的施策】

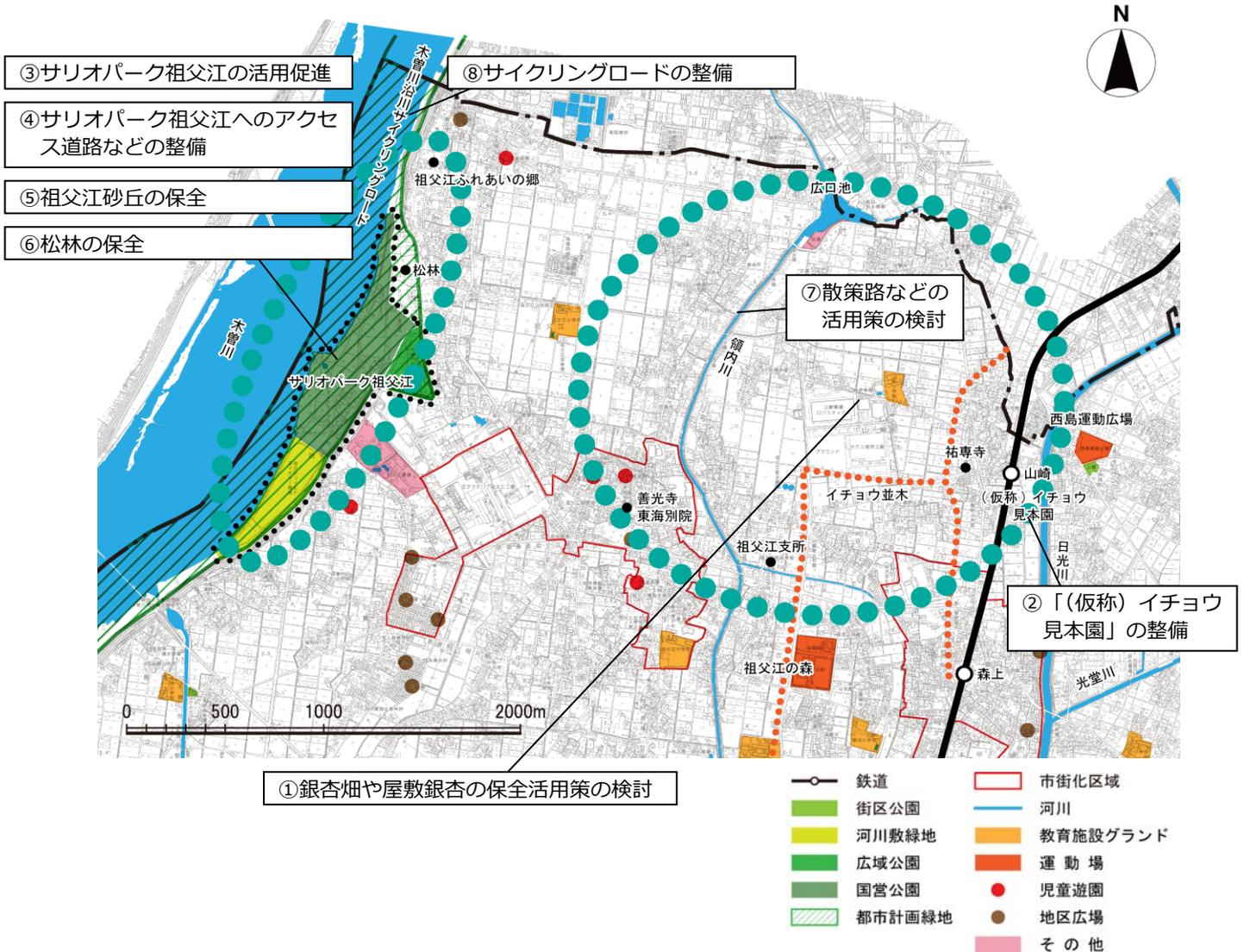
⑦散策路などの活用策の検討

○地域住民と協働し、水（広口池、領内川）と緑（善光寺東海別院、祐専寺など）をつなぐ散策路を検討します。

⑧サイクリングロードの整備

○サリオパーク祖父江につながる木曽川沿川サイクリングロードの整備を促進します。

山崎・サリオパーク祖父江周辺地区方針図



(4) 須ヶ谷川周辺地区

1) 基本的考え方

日光川や三宅川に囲まれ、地域の中心部を流れる須ヶ谷川下流の河川沿いには60種、約1,400本の桜がみられる桜ネックレスがあり、地域のシンボルとして親しまれています。

また、大規模な工場が立地する平和工業団地では、工場及び周辺の緑化が行われています。

桜ネックレスを継承し、工場周辺の緑化を促進するなど、植木のまちとしての稲沢らしさが感じられる緑のまちづくりを目指します。

2) 主な整備方針

基本目標：地域との協働による桜のまちづくり

基本方針1. 桜ネックレス構想を継承します。

【具体的施策】

①桜の植樹や桜ネックレス構想の継承

- 桜ネックレス構想を受け継ぎ、歩行者が安心して通行できるように桜ネックレスの分断箇所の解消や延長を検討します。
- 勝幡城跡など地域資源の活用も検討します。

基本方針2. 工場及び周辺の緑化の促進、平和中央公園のあり方を検討します。

【具体的施策】

②工場の緑化の促進

- 工場における緑化を促進し、緑化の推奨パンフレットを作成するなど、植木のまちとしての稲沢らしさが感じられる緑豊かな空間づくりを促進します。

③平和中央公園のあり方の検討

- 平和中央公園の一部未供用箇所のあり方について検討します。

基本方針3. 地域住民とともに桜のまちづくりを継承します。

【具体的施策】

④地域住民による桜の植樹・維持管理

- 地域住民との協働による桜の植樹や維持管理、水路清掃や水質改善など、桜のまちづくりへの参加しやすい仕組みづくりを検討します。

須ヶ谷川周辺地区方針図

